

岡山大学 アカデミック企画特別講演

水戸徳川の 四〇〇年

— 十五代当主が語る水戸黄門の魅力 —



講師 — 徳川 斉正 とくがわなりまさ 水戸徳川家15代当主 財団法人水府明徳会会長理事



[撮影/阿部 浩]

財団法人水府明徳会 Suifu-Meitokukai Foundation

昭和42年、水戸徳川家13代当主圀順氏によって設立され、彰考館（『大日本史』編纂の史局）の史料類、水戸家伝来の什宝及び西山荘（水戸藩2代藩主光圀公の隠居所）が水府明徳会に寄附された。財団の所蔵品は、彰考館文庫約3万点の史料のほか、武具、茶道具、墨跡、調度、遊戯具等の大名家の道具類約3万点。その展示施設として昭和52年に「彰考館徳川博物館」を開館し、所蔵文化財を調査、研究するとともに広く一般に公開している。

日時 — 平成22年11月26日(金) 18時から 開場17時

場所 — 岡山大学創立五十周年記念館

対象 — 学生、教職員、一般の方 どなたでも参加できます

入場無料

お問い合わせ — 岡山大学 学務部学生支援課 086-251-7183

